



《発行所》

青山同窓会

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-635
県立新潟高等学校内
TEL 025-266-5268
FAX 025-266-5268

《編集・発行人》

吉田 至夫

《印刷所》

株式会社 DI Palette
〒950-8724 新潟市中央区和合町2-4-18
TEL 025-285-7161
FAX 025-282-1776

新年のご挨拶

青山同窓会会長

吉田 至夫 (79回)

71卒



明けましておめでとうございます。

同窓生の皆様におかれましては良いお年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

私は昨年7月の青山同窓会総会で第7代会長に選任された吉田至夫です。4人の副会長さんをはじめ役員の皆様と力を合わせ、会の発展に力を尽くす覚悟です。どうか宜しくお願い申し上げます。

前会長の敦井榮一さん、本当にお疲れ様でした。同窓会の体

制をきちんと整備され、創立百三十周年記念事業も立派に成し遂げられました。寄付事業の残余については、前回と同様、校内のIT環境の整備に使用される予定です。母校新潟高校のIT環境は県内公立高校ではトップクラスとのことです。あらためて青山同窓会の底力を感じます。

猛威を振るった新型コロナも未だ収束については至らないものの、一定の落ち着きを見せているようです。教育現場において教職員の皆様のご努力に敬意を表したいと思います。

社会活動もかなり回復してまいりました。昨年の青山同窓会総会は4年ぶりに制限無しで開催することができました。丈夫(ますらお)を声高らかに斉唱することはやはり素晴らしいこ

とです。思わず目頭が熱くなりました。東京青山同窓会の総会にも参加してまいりました。佐藤信秋会長はじめ役員の皆様にお会いするとともに久しぶりに東京在住の同期の皆様とお話する機会に恵まれました。招待を受け昨年10月末、青山

祭を見に行つてまいりました。ご家族の見学など制限無しの開催はやはり4年ぶりとのことです。文化部中心に作品や発表論文にはハイレベルなものも多く後輩達を誇らしく思いました。垣間見る青春の傲りも微笑ましく、我が青陵健児健在なりとの思いを抱いてまいりました。

令和4年7月22日の総会で改正した青山同窓会会則にある通り、会の目的は「本会は会員相互の親睦を図るとともに、新潟県立新潟高等学校(以下、「本校」という。)の発展に寄与すること」にあります。ロシアのウクライナ侵攻や激化する中東情勢など昨年は世界を揺るがす大事件がありました。百三十余年にお

青山同窓会新年会のお知らせ

青山同窓会会長 吉田至夫

明けましておめでとうございます。恒例の青山同窓会の新年会を開催いたします。普段会えない方々と大いに歓談して頂きたいと思っております。各期幹事の皆様からも同期の方々に連絡をしていただきたくお願い申し上げます。参加を希望される方はお誘い合わせて事務局までお申し込みください。

記

日時 令和6年2月15日(木) 受付開始 午後6時
開宴 午後6時30分

会場 ホテルイタリア軒 (TEL 025-224-5111)

会費 当日、会場受付で納入ください
平成30年3月卒業以前 (126回から上・通信制) **7,000円**
平成31(令和1)年から令和5年3月卒業まで (127回から131回まで) **3,000円**

お申し込み方法 卒回、お名前、日中ご連絡可能な電話番号をメールまたはハガキでご連絡ください。

締め切り 令和6年2月5日(月)
お申し込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は2月9日(金)まで承ります。(2月9日(金)午後3時30分までに欠席の変更連絡がいただけなかった方は、後日キャンセル料金として対象会費相当額を申し受けます。)

お申し込み・問い合わせ
青山同窓会事務局 〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-635 県立新潟高等学校内
TEL 025-266-5268
電子メールアドレス niigata_aoyama@yahoo.co.jp
在室時間 月～金曜日(祝日・入学試験期間等を除く)
午前10時30分から午後3時30分まで
(業務内容によっては留守になることもあります。)



新役員就任挨拶

副会長 (前副幹事長)

町田 一越 (95回) **87卒**



います。

この度、青山同窓会副会長を
拝命しました町田一越(旧姓上
村)と申します。総会での95回
卒業は未だ出入口側という若輩
の私が...と戸惑いながらも、ご
指名をいただきましたことを有
難く思い、吉田至夫新会長の下、
渡邊副会長・敦井新副会長・若
槻新副会長と共に重責を果たし
て参りたいと存じます。

剣道部に所属していた私は昭和
62年3月に高校を卒業してから
36年間、今でも毎年欠かさず
母校剣道場に顔を出しておりま
す。平成3年に第四銀行に入っ
て間もない頃、週末ごとに稽古
に通う私に対して当時の顧問田
辺隆先生から「教師の自分より
道場に居ることが多い」と言わ
れたことを思い出します。平成
11年から剣道部OB会(青山剣
友会)事務局長を12年、その後
現在に至るまで副会長を務めて

副会長

敦井 一友 (98回) **90卒**



このたび副会長に就任した98
回の敦井一友と申します。今回
初めて青山同窓会総会に参加し
たという年季が入った幽霊同
窓会員でしたが、心機一転、今
までの不義理は、これからの
同窓会への貢献で清算する所存
です。

卒業後、はじめて同窓会活動
に関わったのは10年以上前、帰
郷後に色々な機会会で青山の卒業
生と邂逅することが増えてきた
頃、同期の集まりにて、卒業後
初の全クラス同期会の話が自然
発生的に立ち上がり、その幹事
団に加わったことでした。平成
22年8月14日に98回同期会「卒
業20周年の集い」を開催するに
至り、恩師も含めて162名が集ま
る大盛況となりました。当日の
詳細は青山同窓会報第92号同期
会報告にありますのでお手元の
同号をご参照いただくとして、
ここでは割愛します。
私にとっては、短期間で同期
会実現に漕ぎ付けた同級生の実

副会長 (前監事)

若槻 良宏 (100回) **92卒**



卒業20周年の集いで、同窓会
活動は「上がり」と考えてきま
したが、あにはからんや、吉田
会長の命を受けて副会長就任と
なりました。これは「先輩諸兄
に比べれば、君ごときでは、ま
だまだ同窓会でのはたらきが足
りないのだ」とのお叱りを受け
止め、己の浅慮を深く反省する
日々です。若輩ではありますが、
同窓生の皆様のご指導・ご支援
をいただき、担いを果たす所存
ですので、どうぞよろしくお願
いいたします。

このたび、副会長を仰せつか
りました若槻良宏でございます。
職業は弁護士であり、弁護士法
人青山法律事務所の代表を務め
ております。
副会長就任にあたり、自己紹
介とご挨拶をさせていただきます
。私は、新潟市出身で、平成
元年に高校に入学しました。私

青山同窓会役員名簿

| 役名 | 氏名 (卒回) |
|-------|--------------|
| 会長 | 吉田 至夫 (79回) |
| 副会長 | 渡邊 毅 (85回) |
| 幹事長 | 桑野 一美 (97回) |
| 副幹事長 | 柳本 和貴 (94回) |
| 幹事 | 若槻 良宏 (100回) |
| 幹事 | 敦井 一友 (98回) |
| 幹事 | 町田 一越 (95回) |
| 幹事 | 加藤 貴之 (100回) |
| 幹事 | 品田 泰 (101回) |
| 幹事 | 佐藤 邦栄 (102回) |
| 幹事 | 関口健之介 (103回) |
| 幹事 | 田中 健一 (105回) |
| 幹事 | 五十嵐悠介 (107回) |
| 広報委員長 | 金井 利郎 (92回) |
| 監事 | 吉田 徳治 (83回) |
| 監事 | 逸見 和宏 (85回) |
| 顧問 | 長谷川 義明 (61回) |
| 顧問 | 敦井 榮一 (69回) |

将之君(100回、柔道部)とともに、法律事務所を開設しました。同じ学び舎で楽しく過ごした青春時代を原点に、大変恐縮ではございますが、「青山」という名称を使用させていただいた次第です。その後、これも縁あって青山の後輩が仲間に加わるなどして、現在は弁護士9名体制で業務を行っております。

このたび思いがけず副会長のお話をいただきましたので、これらのご縁を大切に、吉田至夫

幹事長 (前副幹事長)

桑野 一美 (97回) **89卒**



あけましておめでとうござい
ます。

昨年、吉田新会長体制の発足に伴い、青山同窓会幹事長を拝命いたしました97回卒の桑野一美と申します。

このような大役を仰せつかり、只々、身の引き締まる思いです。昨年、総会から総会実行委員長を加藤貴之さん(100回)に引き継ぎ、総会、新年会設営の主軸から外



監事 (前幹事長)

吉田 徳治 (83回) **75卒**

皆様、明けましておめでとうございませう。同窓会は昨年の総会において新会長の下で新しい

前役員退任挨拶

副会長 砂田 徹也 (81回) **73卒**



役員体制が発足しました。私は敦井前会長の下、幹事長を8年間務めさせていただきました。振り返りますと、様々な出来事が思い浮かびます。中でも「がんばれ青山」のゆうちょ銀行の口座開設は記憶に残ります。

野球部が県大会で勝ち進むにつれ、このままの勢いで地区大会でも優秀な成績を収め、甲子園へコマを進めてほしい。同窓のだけれど抱く夢であると思います。そう言った時にバックアップのための寄付金を募集させていただきました。ところが、この新規口座開設がなかなかややこしいという感じがかります。甲子園を決めてから手続きをしていたのでは到底間に合わないのです。

そこでこの口座の誕生です。平時は運動部、文化部で県・地区大会等で優秀な成績を収めた

同窓会運営に携わるみなさんに快くご助力いただく環境づくりを行うと共に、微力ではありませんが自らもこの会の手となり足となることではないかと思えます。そうした結果として、吉田会長をはじめとする新体制が同窓会会員の皆様に、より一層魅力的に感じていただければと考えています。

幹事長の重責に基き力不足の感は拭えませんが、会員各位のご指導ご鞭撻をお願いし、幹事長就任のご挨拶といたします。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

青山同窓会の副会長を務めさせていただきます。2023年7月開催の青山同窓会総会において任期満了により退任いたしました。第81回卒業生です。

会員の皆様におかれましては、長年にわたりご指導ご鞭撻を賜わり、誠にありがとうございます。おかげさまで会長を補佐

方々に年間の上限金額の範囲内で義援金を送ります。ことが起きた時にはホームページ等に「一定の期間を定めて野球部への募金口座とします」と広告するのです。また本来の目的は果たせていませんが、毎年部活動で活躍した後輩達には義援金を送らせていただいています。

監事としてかわらせていただく今後は、幹事長時代の経験を基にして、しっかりと努めてまいりたいと思います。

し、執行部の一員として大過なくすごすことができたのではないかとホッとしております。

そして、何より、この間、会長を務められた長谷川義明様、敦井栄一様におかれましては、長年にわたりご指導をいただき、とともに、いろいろとお世話になりました。誠にありがとうございます。会長として明確なメッセージを示していただき、迷うことなく会務を遂行することができました。

また、同期の副会長の皆様とは良いチームを組ませていただき誠にありがとうございます。全ての事柄が円滑に進んだように記憶しております。

ところで、私は、昭和48年に新潟高校を卒業しました。以来、およそ50年、半世紀です。50年も経つたというのは、とても信じられませんが、それが現実です。年々、年が経つのが早く感じられるようになります。それも加速度的に。

これからどんな時代になっていくのか、ワクワクするような位置関係にいて、時代と向き合っていたいものですね。まずは、今年70才を迎える時、どんな気持ちでいるのか、少し楽しみな今日この頃です。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

また、同期の副会長の皆様とは良いチームを組ませていただき誠にありがとうございます。全ての事柄が円滑に進んだように記憶しております。

副会長

福田 勝之 (82回)

74卒



礼申し上げます。

昨年、副会長の任を退任いたしました福田でございます。敦井会長の下、皆さんには大変お世話になりましたこと、厚く御

監事

富山 修一 (75回)

67卒



た事でした。新潟高校卒業生で当時ご活躍されておられた方々から毎年秋に講演に来て頂き、同窓会員並びに現役学生を対象に視聴覚教室を開放して聞いてもらいました。

ようやくコロナ禍が終わり正常な形で青山同窓会総会が開催され、吉田徳治さんにバトンタッチをして監事を退任させて頂きました。

講演者の中には會津八一記念館館長(当時)であられた神林常道さん(65回)や、義太夫奏者(後に下ナルド・キーンさんと養子縁組)の上原誠己さん(77回)、当時NHKニュースウオッチ9のキャスターであった大越健介さん(88回)、現経団連副会長でDNA会長の南場智子さん(89回)等をお迎えして講演をして頂きました。特に大越さんと南場さんの時は学生さんに大人気で正に立錫の余地が

ました。改めて、同窓会の皆様のご厚情に感謝申し上げます。

学校を卒業してから、教育現場を離れている間に、学生達を取り巻く環境が大きく変わったことに気づかされた時間でした。学生気質が変わってきたことはともかく、先生方の職責が益々重くなってきたことは実感できました。個性を重視すること、多様性を認めると言うことの違いがはつきりしないまま時代が動いていると思

ないほど混雑し、講演後の質問コーナーでもこちらが終了宣言をしないと終わらない程の盛況を呈しました。

今は個人情報保護法の関係でしようか、卒業校をお聞きする事ははばかれる時代になりましたが、母校を卒業した同窓生には多くの英傑がおられます。ビジネスの途中で何気なしに同窓生と分かると「おー！君も青山か！」と話が弾み、難しかった商談も一気に解決するという事もしばしばです。最後になりますが、青山同窓会が地下水脈のようにネットワークを張りめぐらし皆さま方のお役に立つ事を願ひ退任のご挨拶とさせていただきます。

ます。

我々社会人として、若者がどのように活躍してもらえらるる社会を創るかを考えなければなりません。新しい発想で、また、経験したこと、学んだことを、イノベーションにつながるものとして受け入れていく風土が有つてこそ若い力を活かせる社会を創れると思います。私自身同窓会活動で学んだことを活かせるよう母校の発展に貢献できるよ

新年のご挨拶

活力のある新潟県の実現に向けて

新潟県知事

花角

英世 (85回)

77卒



う精進して参りたいと思います。最後に、敦井会長はじめ同窓会幹部の皆様、校長先生はじめ学校の皆様、PTAの皆様に変お世話になりました。衷心より御礼申し上げますとともに、新潟高校、同窓会の益々のご隆盛を祈念して退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

青山同窓会の皆様、新年明けましておめでとうございます。県民の皆様から再び信任を頂いてからこの一年半、県民の皆様の安全と安心を確保することを第一に、活力のある新潟県の実現を目指し、二期目の県政運営に取り組んでいます。まず何よりも、人口減少とい

う深刻な課題を抱える新潟県にとって、若い世代を中心に、働く場所として、起業・創業など挑戦する場所として、訪れる場所として新潟県が「選ばれる」ことを目指さなければなりません。

妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援により、子育てに優しい社会の実現につなげていきます。交流人口の拡大に向けても、新たに設置する首都圏情報発信拠点「銀座・新潟情報館 TH ENIGATA」による魅力発信と交流促進に取り組みとともに、台北線、上海線、ソウル線、ハルビン線と順次再開している新潟空港の国際線に対応し、海外からの誘客拡大に官民一体となつて、より一層取り組みます。また、昨年11月にはベトナムのタインホア省及びピンロン省と交流協力に関する覚書を締結しました。ベトナムの間で人材の交流や経済・農業交流などが活性化し、県内企業の人手不足への対応などにもつながることも期待されます。また、「佐渡島の金山」の世界遺産登録の実現に向けた進展、地域航空会社トキエアの就航など、明るい話題もたくさんあります。こうした取組や事業が新潟の元気につながることを願うとともに、新潟ゆかりの方々や組織・団体が、大きく飛躍する1年になることを期待しています。青山同窓会の皆様には、引き続き活力のある新潟県の実現に向けて御理解と御協力をお願いします。

新潟を一大拠点にしよう

参議院議員(全国比例区) 佐藤 信秋 (74回) 66卒



あけましておめでとうござい
ます。今年こそは、新潟を日本

海側の一大拠点にするキックオ
フイヤーにしたいものです。思
えば約20年前、政府が前回の
国土形成計画を練り上げていた
頃、「新潟を日本海側の拠点都
市にする」「新潟は、北陸にも
東北にも、関東のブロックにも
属さず独立独立歩の一大拠点に」
という気分で、新潟は、全国形
成計画作りに参加していたよう
に思います。

今では、そんなにのんびりし
ているわけにもいなくなつた
のでは無いでしょうか？東日本
大震災以来、防災、減災、国土
強靱化、として多くの大地震や
台風等の大災害とそれに対応す
るための国民の側の営々とした
努力の方向を、国土強靱化基本
計画としてとめて、政府の行
動目標を掲げています。

このままでは、首都直下地震

で3万人以上、南海トラフ大地
震で30万人以上の犠牲者が出る
と予測されている中で、全国民
上げて、広域に対応し被害を最
小限にする救援、救命活動を迅
速にできる態勢を組んで、生命、
財産、経済等へのダメージを極
小にできるように準備万端とと
る。新潟には、豊かな広い平野と
海、多くのエネルギーとしての
水力、火力、太陽光、原子力な
どや、メタンハイドレード、下
水藻原油の活用など、これから
時間は要するが、先行き面白そ
うな新エネルギーの芽もあります。

長い海岸線と多くの素材を
もつと生かし、いつ来るかわか
らないが、いざという時、いつ
でも日本海側、新潟でどんと受
けて立つ、と知事を先頭に、そ
の準備を徹底して今年からやろ
うではありませんか。皆様の奮
起を期待します。

新潟の声を、日本の未来に

参議院議員 小林 一大 (100回) 92卒



新春を寿ぎ謹んでお慶びを申
し上げます。青山同窓会会員の
皆様におかれましては、お健やか
に新年をお迎えのことと存じます。
日頃より、皆様には格別なる

ポストコロナの内外情勢

衆議院議員 鷲尾 英一郎 (103回) 95卒



ご心配を賜っておりますこと改
めて御礼申し上げます。
国会では引き続き予算委員会
と経済産業委員会の2つの常任
委員会、北朝鮮による拉致問題
等に関する特別委員会、そして
憲法審査会に所属させて頂き、
また党におきましては、女性局
次長、ネットメディア局長など
を仰せつかり、ふるさと新潟
の声を国に届けるべくあらゆる
場面にて今年一年も全力で活動

未曾有の事態で幕を開けまし
た。新型コロナウイルスが第5
類に区分されたことを契機に、
普段通りの日常が戻ってきた1
年となりました。しかし、ロシ
アウクライナ戦争にまつわる経
済制裁によって乱されたサブラ
イチェーンや、コロナ禍後の需
要の急回復により、各国はイン
フレが止まらず、日本の財政金
融政策と相俟って、円安基調が
続き、日本の交易条件は急速に
悪化しております。加えて、昨
年の酷暑に代表されるように気

新年あけましておめでとうござ
います。青山同窓会の皆様にお
かれましては、日々益々清祥の
段お慶び申し上げます。本年も
何卒宜しくお願い申し上げます。
令和の新時代は新型コロナウイルス
イルスの世界的感染爆発という

候変動の影響が顕著に表れ、エ
ネルギー高騰や災害の激甚化に
対して財政需要はとどまる所を
知りません。少子化は想定以上
に進み、過去最低の出生数を反
転すべく政府与党一丸となって
子育て支援を強力に推進してい
ますが、今後も強力な政策を実
行し続ける必要があります。
現在の豊かさを次世代にうまく
引き継ぐ為にも、内外の諸情勢に
果敢に取り組まねばなりません。
昨年、解散風の吹き続く中、
懸命に政治活動に邁進し、お陰
様で新潟県第四選挙区において
次期衆院選の自民党公認候補予
定者となりました。新潟県は公
職選挙法改正に伴う10増10減の

をして参ります。
我が国を取り巻く環境は、終
わりの見えないロシア・ウクライ
ナ紛争やイスラエル・ハマス紛争、
周辺国と対峙する安全保障環境
の変化など厳しさを増していま
す。また燃料資源価格の高騰や
円安による輸入コストの増加に
よる物価上昇などは多くの中小
事業者や家計を苦しめています。
さらには従前より地方を中心
に急速に進む人口減少、それに伴
う農林水産業や地場産業、地域
公共交通などの持続可能性、激
甚化する自然災害への防災・減
災対策など抱える課題は多種多
様であり、対策は急務です。
私たちの宝である子供たちが
目を輝かせ夢や希望を語る社
会の実現を目指し、大先輩であ
る花角知事をはじめ各首長、国・
県・市町村議員の皆様、そして
何より各地で活躍されるすべて
の皆様と連携し、ふるさと新潟
そして我が国の更なる発展に寄
与すべく粉骨砕身努力を重ねて
参ります。引き続き変わらぬご
指導ご鞭撻を賜りますよう宜し
くお願い申し上げます。
結びに、青山同窓会の益々の
発展と会員皆様のご健勝ご多幸
をご祈念申し上げます。

同窓会総会報告

令和 5 年 青山同窓会総会・懇親会の報告

長谷部 美也子 (93回) 85卒

令和 5 年 7 月 21 日 (金) に青山同窓会総会・懇親会が ANA クラウンプラザホテル新潟で開催されました。

総会は、敦井榮一会長(69回)のご挨拶から始まり、続いて小川正樹校長のご挨拶がありました。

小川校長からは、コロナ禍以降久々に 7 月 23 日 (日) からアメリカ研修が行われることなど、現役生の皆さんの高校生活に日常が少しずつ戻ってきている近況を伺いました。

続いて、東京青山同窓会の日下部朋子幹事長(82回)、東北青山同窓会笹川稔郎会長(82回)より各地の開催報告をいただきました。

その後、議事にうつり、令和 4 年度会務報告及び決算、令和 5 年度会務計画及び予算について承認されました。続いて役員改選の審議となり、長年同窓会会長を務めていただいた敦井会長がご退任され、吉田至夫新会長(79回)が選任され大きな拍手で迎えられました。

同窓会後半は懇親会です。齋



藤真理さん(111回)の司会でスタートし、吉田至夫新会長のご挨拶、来賓の参議院議員小林一夫さん(100回)のご挨拶と続きます。そして 4 年ぶりの校歌斉唱。多くの先輩方と校歌を歌える喜びをかみしめました。

校歌斉唱の余韻に浸りつつ、渡邊毅副会長(85回)の乾杯の挨拶で歓談タイムに移りました。各卒業回に分かれたテーブルは久しぶりの再会で思い出話に花が咲き笑顔が広がりました。PR タイムでは、野球部 OB 有志から「大学野球サマリー」についての紹介がありました。そして、今回の同窓会総会最多

出席期の表彰式です。1 位は 29 名参加の「79 回」。2 位は 19 名「82 回」、3 位は 13 名「100 回」：来年度は同期に声を掛けあつてみんなで参加したいものです。

懇親会のラストは 4 年ぶりの声を出しての応援歌「ますらお」斉唱。品田泰さん(101回)の力強い発声に続き、会場がひとつになつての「ますらお」は圧巻でした。最後は敦井一友新副会長(98回)の挨拶から万歳三唱でお開きとなりました。開催にご尽力いただいた総会実行委員の皆様感謝申し上げます。

令和 6 年度青山同窓会総会のお知らせ—予定—

新型コロナウイルス感染症の状況等により変更もあり得ますが、現時点では下記の通り予定しています。

日時：令和 6 年 7 月 12 日 (金) 午後 6 時～ 総会 午後 6 時 30 分～ 懇親会 会場：ANA クラウンプラザホテル新潟

令和 4 年度青山同窓会収支決算書

(自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日) (単位：円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. It details the financial results of the 4th year meeting, including income from membership fees and expenses for various activities.

令和 5 年 4 月 4 日 上記の通り相違ないことを確認致します。 監事 吉田至夫 監事 品田泰 監事 渡邊毅

令和 5 年度青山同窓会会務計画

令和 5 年 7 月 21 日 (金) 総会 令和 6 年 2 月 15 日 (木) 新年会

令和 5 年度青山同窓会収支予算書

(自 令和 5 年 4 月 1 日 至 令和 6 年 3 月 31 日) (単位：円)

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. It details the budget for the 5th year meeting, including income from membership fees and expenses for various activities.

がんばれ青山

～応援募金についてご案内～

日頃は同窓会活動にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。
全国大会へ出場し活躍を続ける現役生を支援するため、募金口座を開設しております。引き続き、「がんばれ青山」へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行 00510-4-52617 **がんばれ青山**
第四北越銀行
本店 普通口座 5054323 **がんばれ青山**

ご寄付を頂戴しましたことをご報告し、篤くお礼申し上げます。

- お取引明細表が領収証となります。
- お名前に併せて卒回もご記入ください。
- ・第四北越銀行様ATM画面では「御依頼人指定」にて操作できます。
- ・ゆうちょ銀行様ATM画面では金額入力後の「ご確認ください」の画面で操作できます。「口座名義で送金します」で「いいえ」を選び、手入力で下記のようにご入力をお願いします。
- ・ご自身のお名前の前に卒回の数字のみを入力ください。(カイツツ、ネンカイ等の文字は必要ありません。)
- 例) 全日制の方の場合 00アオヤマタロウ
通信制の方の場合 ツ00アオヤマケンジ

がんばれ青山応援募金御芳名簿 (2022年12月～2023年11月)

| | | | |
|----|----------------------------------|------|-------|
| 個人 | 全日制 | 79回 | 久保田愛子 |
| | | 108回 | 小野 由美 |
| 団体 | 東京青山61期同期会 二木会 (61回) 青山同窓会 | | |

(敬称略)

各地青山同窓会

令和5年度東京青山同窓会 「総会兼新人歓迎会」報告

工藤 義夫 (74回) **66卒**

令和元年の総会以来、地球規模のコロナ禍で4年が過ぎた。自粛・リモート・マスク越しのパンデミックの世界。その間、1年遅れ観客ゼロの東京五輪。ウクライナ侵攻5百日も終息なし。世界は今夏、温暖化から沸騰化へ。4年前の新人は大学4年生。いけない！今年こそやらねば！コロナ推移を見つつ、主催の90回有志と相談し2月に開催決断、会場予約、準備開始。令和5年7月8日の開催にこぎつけ正直安堵した。

総会では、佐藤信秋東京会長挨拶と、事務報告。敦井榮一青

東京青山61期同期会様からの寄付(お礼)

この度、東京青山61期同期会の皆様より「がんばれ青山」へ5万3千円余ご寄付をいただきました。昭和28年にご卒業され、東京にて同期会を開催されましたが、解散されることとなり、会の残余金を寄付してくださいました。お志に感謝し大切に使用させていただきます。

大変ありがとうございました。

二木会様(61回)からの寄付(お礼)

この度、二木会の皆様より「がんばれ青山」へ2万4千円余ご寄付をいただきました。二木会は昭和60年頃に同期の方のお店で集まった会が始まりで、いつも第2木曜日に開催されてきました。この度、解散されることとなり、会の残余金を寄付してくださいました。お志に感謝し大切に使用させていただきます。

大変ありがとうございました。



山同窓会長から百三十周年記念事業への御礼、小川正樹学校長から母校音信を話していただいた。12時のウェルカムドリンク後、冒頭イベント「いまいあい」さん(105回)のソプラノの調べが心地よい。♪乾杯の歌♪をはじめ♪オーソレミオ♪に至るまで会場に響き渡った。ランチはレストラン風味の洋食。

さあ1時から新人歓迎会だ。4年間のブランクで、新人(128～131回)の参加数は13人。各自紹介後、代表の各幹事が返礼をした。新人達と全参加者の集合写真。2時間の総会終了後は暫

く各テーブルなどで自由懇親の後、恒例の校歌斉唱と応援歌唱だ。主催90回の渡辺正明応援団長が壇上で指揮し唱和した。リアルな会はやっばり楽しいものだ。それぞれがマスクなしで生の声を交わし、思い切り「ますらお」も歌え格別だ。なお今回から、従来の金曜夜ではなく、土曜の昼に変えてみたがどうだろうか。後ろの時間を気にせず、総会は前半2時間とし、残る1時間は世代を越えてお喋りしたり、飛び入りで各世代がアトラクションで盛り上げたりと、いろんな世代での交流もできたようだ。

今回は90回有志12名が総会を主催し準備・受付・司会等を担当。今回は94回等にシフト、以降順次繰り下げ予定。今回は91人の青山の「地上の星」たちが集まった。今回は令和6年6月29日(土)昼、また皆様とお会いしたい。

第11回東北青山同窓会 参加報告

後藤 優子 (109回) 81卒

11月18日土曜日、仙台市の江陽グランドホテルにて第11回東北青山同窓会が開催されました。青山同窓会の敦井顧問、桑野幹事長、講演会講師の高野様にもご出席いただき、さらに総会はオンラインでも配信され、合計36名の方が参加される盛況な会となりました。

私自身の東北青山同窓会への参加は今回が2回目でした。大卒卒業後ずっと新潟や東北を離れており同窓会からも遠ざかっていましたが、2023年は仕事の都合で仙台に住んでおり、かつ新潟高校卒業の大先輩から東北青山同窓会が開催されるとの情報をいただけたため、今回



久しぶりに参加させていただくこととなりました。幹事様からすれば、案内状を発送していない人間から、出欠を締め切った後に突然参加希望の電話がかかってきて、相当迷惑だったと思います。そんな困った後輩からの希望にも快く？対応いただき、新潟高校の先輩の懐の深さを改めて実感した次第です。同窓会当日は、久々の参加で

恩師を囲む会に参加して

内藤 紀美子 (通26回) 84卒

令和5年6月18日、青山同窓会通信制『恩師を囲む会』が開催されました。前回は平成30年の開催でしたので、コロナ禍もあり5年ぶりの開催となりましたが、恩師11名とご来賓に敦井前青山同窓会長をお招きし、計84名の大盛会となりました。私は今回2度目の出席でしたが、恩師の若月先生(在籍昭和46〜59年)が元気なお姿で出席され、久々にお目にかかれて嬉しかったです。

私の通信制との出会いは、故郷である岡山県から主人の故郷である新潟へ、小学1年生の長

あること、また会場の雰囲気もあって、最初はかなり緊張しましたが、先輩方がたくさん声をかけてくださり、途中からはリラックスして参加することができました。驚いたのは、私の前回の参加は2005年と相当前であったにも関わらず、当時のことを覚えていて声をかけてくださった先輩が何人もいらしたことで、東北青山同窓会の絆の深さを実感しました。総会では、後輩の近況(コロナ禍後、初の通常開催となった青陵祭の成功)を知り、また常に

男、6歳と2歳の娘を連れて32歳の時に移住したことがきっかけでした。温暖な地から雪の新



挑戦を続けていらつしやる先輩の姿を拝見し(沼垂ビル株式会社 代表取締役の高野俊也(81回)様による講演)、非常に刺激を受けました。懇親会でもいただいた沼垂ビル、最後に皆で斉唱した丈夫等々、忘れられない一日となりました。

当日すっかり楽しんだ私は、「次回もきつと参加します!」と宣言して帰宅の途につきました。次回また、皆さんと丈夫を斉唱する日が今からすでに楽しみです。

渭への移住は、身体も強くなかったため寒さは堪えました。18歳の頃から編物を習得しており、新潟に来てからも、シルバー社の機械指定の編物教室を稼業として開かせていただきました。子育てと稼業とを両立しながら、新潟移住6年後の38歳で通信制に入学し、42歳で卒業することができたのは、家族の応援があったからこそ乗り越えられたのだと感謝をしています。通信制での、忘れる事のない思い出を一つ紹介致します。若月先生の現代国語の時間のとき、単元の題材は「学問のススメ」だったと思います。教室の生徒で順に音読をしてゆく際

に、「小使いが」という箇所を「小便が」と読んでしまいました。先生も「なににな」と面白がられ、恥ずかしいやら何やら、大恥をかいたことが今でも思い出に残っています。そんな私でしたが、4年間で無事、卒業できるまでになりました。82歳を迎えた今も、人生百年時代を楽しむためにも、生涯「学ぶことは光」「学ばざればいやし」の教訓を胸に、社会に少しでも役立つ生き方をしたいと思ひ、学びを続けております。青山同窓会通信制の先生方、皆々様のご健康をお祈りして、また元氣にお会いできる日を楽しみにしております。

関西青山同窓会総会 再開のお知らせ

この度7年ぶりに、以下のとおり開催を予定しております。

日時：2024年3月16日(土曜) 15時~17時30分
会場：新大阪ユースホテル (新大阪駅 東口 徒歩10分) 大阪市東淀川区東中島1-13-13 (Kokoplaza 10F)

案内状は本年1月下旬に郵送させていただきますが、連絡先登録に不安のある方、或いは連絡先に変更がある方は下記電子メールで、①氏名、②卒業年、③住所、④電話番号をお知らせください。

[連絡先] 島田 茂 (83回) 75卒
メール：shimada8241@gmail.com
携帯：080-2135-7859

★ 青山同窓会の書籍等のご案内 ★

新潟高校 120 周年までの歴史を編纂した書籍や校歌・応援歌を収録したCD等をご希望の同窓会員にお付けしております。事務局までお問い合わせください。

『青山百二十年史』書籍(CD-ROM付き) 10,000円
『青山同窓会百二十年名簿』 5,000円
校歌・応援歌CD 1,000円

※すべて送料込み、料金振込手数料別途

同窓生訪問

齋藤真理さん(111回)を訪ねて

会報編集委員 関口 健之介(103回) 中村 優美(通46回) 04卒 95卒

今回の同窓生訪問は、近年の

総会で司会を担当されている齋藤真理さん(111回)を訪ねました。新潟高校を卒業後、地元大学に進学。新潟市職員として就職し、主に環境に係る化学職として公務に就かれています。仕事の他、新潟ジャズストリートなどで音楽活動を行われているとの事で、クラシック音楽が流れるカフェでお話を伺いました。

○音楽活動のきっかけ

学生時代から、カラオケで歌うことが好きでした。当時は趣味程度でしたが、4年程前に青山同窓生の同期や先輩とバンドを組んだのが、音楽活動を始めたいきっかけです。メンバー全員、バンド演奏の経験は素人でしたが、たぐさんの友人を呼び、何度かライブを企画しました。その頃から、もっと本格的に音楽に取り組みたいと、ボイスストレーニングも始めました。今思えば、人前で表現する、場慣れするト



○幅広い活動

レーニングとなった機会でした。父が昔からトランペットで新潟ジャズストリートに参加しており、その影響もあってジャズを始めのきっかけとなりました。スタンダード・ジャズだけでなく、フュージョンやアニメ・ソングも演奏するバンドを組み、新潟ジャズストリートに参加しています。

○仕事と音楽活動の両立

仕事も遊びも本気で行うことが大切だと思います。音楽は何歳になっても取り組めて、人前で表現する醍醐味があります。長く楽しみながら続けるために、仕事は効率良く行い、趣味や遊びとの「メリハリ」をつけるよう心掛けています。

○在校生に向けて

在校生になり、同窓生との繋

そして父とは、新潟ジャズストリートをはじめ、様々なイベントでも親子共演で活動しています。他にも、様々なバンドのコーラスのサポートや、バンドメンバーのギターリストでもある主人との夫婦デュオも行っています。これからは夫婦デュオのレパートリーも増やしていきたいですね。

○卒業アルバム寄贈のお願い

今回の新潟ジャズストリートは、齋藤さんの歌声を聴きながら杯を傾けよう。そんな事を思いつく、これからは齋藤さんの音楽活動(MARI PROJECT Youtubeチャンネル https://www.youtube.com/@mari-project3544)を応援させていただきます。(関口記)

同期会報告

第19回青山68会展を終えて

神田 性智(68回) 60卒

4月下旬、田中幹事から、今年も青山展開催と、日時の連絡がきました。私は少し遅れて参加したのですが、幹事諸氏の熱意と、これまでの手間ひまかけた計画・準備の活動が、会をここまで継続させてきたと思いま

す。連絡を受けた瞬間頭にうかんだのは、1年生の時のプレハブ教室と上級生の新校舎。美術の授業でその新校舎を写生した記憶があります。今年19回目、絵画、写真、陶芸、書、てん刻など50点で

た。今回は「信濃川」が特別テーマで、上流は長野県の梓川、新潟県に入って小千谷、中之口から港のある河口まで、それぞれの視点で個性のある作品が並びました。一人で数点もの意欲的な作品もありました。市内を流れる信濃川の多様な姿をとらえた組写真。能の女面、歳によつて変わっていく微妙な表情を造型したいくつもの作品など、じっくり見ることができました。



卒業アルバム寄贈のお願い

会長 吉田 至夫

下記の学年及び旧制中学の卒業アルバムをお持ちの方は同窓会にご寄贈を検討ください。

49回、50回、52回、53回、54回、57回、95回、98回

ご寄贈いただける方は、青山同窓会事務局まで連絡をお願いします。

TEL/FAX 025-266-5268

メール niigata_aoyama@yahoo.co.jp

あの顔で あの声で 青山70回傘寿同期会

丸山 正 (70回) 62卒



80歳の壁に新型コロナナウイルスパンデミックと炎暑続きの新潟が全国暑さナンバーワンに歴史的体験に遭遇。10月6日傘寿同期会参加者60名、会場は新潟駅南口アートホテル4階、集まる仲間には杖・歩行器の姿も。斎藤忠正君司会で鬼籍入りの先生方・仲間全員に各々の想いを込めて黙祷し開会。伊藤善允会長の同期会は傘寿が最後との挨拶、児玉元彦君の指揮で校歌斉唱。函館から参加の松原紘君の音頭で声高らかに乾杯し会場は

一気に歓談が広がった。80歳にノンアルコールビール注文が続出。久しぶりに懐かしいあの顔に再会し、あの声飛び交い、ヨ一、オ一と声を上げて握手を交わし抱き合い、壇上・各テーブルは近況・昔話に盛り上がり熱気が立ちこめた。Tが死んだてや、ナニヤ、俺コノ前Tト電話シタゾとフエイク情報も飛び交う破れ?傘寿。返信連絡欄211名の近況報告から。ダンテ神曲原典読解語源辞典四巻を著し2年後にライブワーク完成予定のA。自宅近く川沿いと皇居周回ランニング・山岳スキーを愉しむB。国技館5000人の第九合唱団・まち造り活動に参加のC。2泊3日東北ドライブ1200km走破のD。墓碑銘に向心と刻んだ終活のE。ウクレレ・ギター・コンサートに城郭巡りのF。圧迫骨折治療し右手伸筋断裂手術を経てコーラス・声楽・ピアノ・謡曲を愉しみ毎朝ラジオ体操のG。かつては百名山踏破・歩行ができなくなったH。同期会後に胃がん手術予定の煙草好きナ一。知力体力使い果たし候と入院中のL。

すでにあの顔、あの声に再会できなくなった仲間懐かしさ、寂しさを感じることしきり。会場は宴たけなわ、金子健三元応援団長のリードで血圧上昇に氣遣い丈夫大合唱、ガンバレガンバレ青山のエルルで締め。卒業に因み、沢団子こと沢山巖先

青山72期同期会 Final

南木 均 (72回) 64卒

我々72期生358人は昭和38年度卒業生だ。あれから60年、物故者が60人を超える。同期会は5年ごと各クラス幹事の順送り主催により、出席者120人、80人規模で開催してきた。

が、物故者に加え、体調や家族などの諸事情で欠席者が増え、健康と余命が身近な課題になった。在学3年間の校区1周駅伝大会で常に上位独占した若さもいつしか、で、まだ元気なうちに最後の同期会を催した。

古き佳き 昔を語る 同期会

コロナ禍のため3年の順延を余儀なくされたが、昨年9月に80人余の出席者を得て開催された。記念写真を済ませて会場入りした仲間達は、校歌を斉唱し、物故者に哀悼の誠を捧げ、丹羽正之会長の開会挨拶に耳を傾け

生作詩「卒業生に贈る歌」

俺は青山健男児

おなじお前は美女桜

恋も嵐も 乗り越えて

真理を探れ どこまでも

た。温和寛容な会長には、渡部正敏幹事長と共に、第1回同期会から長きに渡り御苦労を頂いた。

乾杯の発声は、南スーダンのナイル川で橋梁建設にあたる梅田典夫氏。氏は「カメラ用の小袋を現地の裁縫店に依頼した。だが店主は近所の娘に作らせて良いかと言う／やがて小袋が届いた。数日後、おかげで制服を買えたと、真新しい制服を着た娘が満面の笑みを浮かべてお礼に来た」という。家族を思い自ら働き学ぶ娘さん、店主は商売よりも近所の娘のために、出来映えよりも心に応えた梅田氏。この逸話から弱者へのいたわり、我慢、礼節、未来など、我々が育った時代に有って、今の日本人が失いつつある「相手を思い

やる心」が素直に想い浮かぶ。

セピア色の 笑顔が集う 同期会

同期生とは、縁あつて母校で出逢い、共に学び、青春を謳歌した仲間達だ。再会の際は卓上の酒肴より、もつぱら旧交を温め、笑顔で話に花が咲く「語り合う集い」となった。誰もが明日の分からぬ身となりて一期一会の重みを悟り、名残は尽きぬ。が、いかに盛会でも時は容赦ない。皆が心を一つに青山を声高らかに唄い、幹事長の音頭のもと、お互いの健康を祈念した

青山80回古希会 祝舞添え盛大に

関本 道章 (80回) 72卒

1953年前後に生まれた第80回卒業の「青山80回古希会」が11月3日午後4時から新潟市のホテルイタリア軒で開かれ、代表幹事・大塚善紀君が「ここ数年で、大切な友人を亡くし、人生先のこととはわからないから古希会を企画した」と開催の趣旨を説明、物故者に黙とうを捧げました。校歌斉唱の後、柳都新潟文化を伝える古町芸妓たちが祝舞を披露。「紅葉の橋」

「新瀨小唄」などを艶やかに踊り古希会に彩りを添えました。そして乾杯へ。内山政二君が



万歳三唱を以て最後の同期会は、惜別の情禁じ難くも散会した。

「統計上、70歳までに男子は2割、女子は1割が亡くなる。高校時代は学問の灯を灯したが、今日はアルコールランプの灯を灯そう」と語り、高らかに杯を上げました。

祝宴中は最多出席13人となった1組、7組に銘酒YK35が贈られ、各テーブルに古町芸妓カレンダーが配られました。さらに昭和46年新潟高校職員有志がつくった青陵祭賛歌「六月緑の」が披露され、アンパンを競いあった熱き青陵祭を思い起していました。最後は恒例の応援歌「丈夫」を大合唱、小林栄思君の閉会挨拶・三本締めでお開き。二次会には74人もが参加、喜寿での再会を約していました。

第80回同期の青春は、1年生時に学校封鎖があり、2年時には大阪万博、三島由紀夫の割腹自殺、3年時には成田空港闘争や浅間山荘事件が起きました。

第83期青山同窓会（昭和50年卒）の報告

三浦 薫（84回） 76卒

卒業後49年を迎えた第83期の同窓会が昨年10月に8年ぶりに開催され、代表幹事吉水敦さんと幹事吉田徳治さんのご尽力により、コロナによる2度の延期



カンパを寄せていただいた方々、企画してくれた同期会実行委員会幹事の皆様、ありがとうございました。

を経て113名が東映ホテルに集いました。

本高卒の「史佳」さんの三味線演奏が華やかに披露され、乾杯前！ということで一同大変真



剣に鑑賞後、いよいよ会がスタート。二次会の手配を心配せず心ゆくまで話に花を咲かせられるように」との幹事さんの配慮で、実に4時間、存分に語り合うことができました。最後は栗林仁応援団長のエールで久しぶりの「丈夫」を全く歌詞を間違えることなく斉唱し、3年後の「古希を祝う会」の開催を幹事さんが約束しての散会となりました。皆それぞれ人生色々あったであろう年月を経て、でもとにかくこの日に笑顔で集うことができた幸せを噛みしめた感動的な同窓会でした。

実際に卒業以来という人もいましたが、青春を共に過ごした友ならば、半世紀の時の隔たりも一瞬で飛び越えることが出来るのは、大好きだった曲を聴くと一瞬で「あの頃」に戻れるのと

似ています。昔の記憶を蘇らせることを「ライフレビュー回想法」と言い、認知症の治療にも使われると新聞で読んだことがあります。人は古い記憶を頭の奥の奥の引き出しにしまい込んでいて、その古い記憶をもう一度引っ張り出して整理する作業が、どうも脳の働きを活性化し認知症予防に繋がるとか。ならば同窓会は格好の若返りの機会だと言えます。

吉田幹事さんからの依頼でこの報告を書きました私、三浦（川崎）薫は、実は83期ではなく84期であることに！書いていた途中で気づきました。3年夏に留學し皆さんの一年後に卒業したのです。「2年4か月も一緒に過ごしたんだから同期だよ」との優しい言葉に思わず執筆を引き受けてしまいました。また次回もお誘い頂けることを、そして今回お会いできなかった方々にきつとお会いできることを願っております。

還暦を超え、益々、大切にしたい同期の絆

池乗 節子（89回） 81卒

「全員が還暦を迎えたら、還暦同期同窓会を開こう」。そう話したのは、令和4年度の青山同窓会での同期のテーブル。そして、令和5年6月24日に、昭和56年3月卒業の第89回卒業生である私たちの還暦同期会が無事、開催されました。

「有言実行」できたのは、幹事メンバーのおかげと、40、50、55歳と同期会を重ねてきた実績があったからに他なりません。当日会場となった新潟東映ホテルには、450名のうち、60数名が集いました。様々な場で重責を担っている者、他の予定と重なっ

に訪れた者、親の墓参りをしてきたよ、と話す者、……。私は、時折、学校町通りを歩くと、さりげない瞬間に、ふつとあの頃が蘇ってきます。他県の人に言わせると、珍しい「けんたか」という名称。「けんたか」で仲間と一緒に過ごした時は、大切な宝物にほかなりません。「人生百年時代」。VUCAの時代。現実の人生は、厳しいことも待ち受けています。そんな時代を生き抜く今だからこそ、「けんたか」の仲間との繋がりを大事に、これからも歩んでいくようではありませんか。「丈夫」の響きを、胸に懐きながら。



第90期 還暦の同窓会

代表幹事 儀同 政宏 (90回)

82卒

令和5年10月8日(日)3連休の中。5年ぶりに、第5回目の第90期同窓会を、万代シルバーホテルで開催しました。40歳で第1回目を開催して以来5年ごとに開催し、今回は還暦の節目となる同窓会で、集まった153名が久しぶりの再会を楽しみました。

司会の宮村達哉さんと滝澤貞子さんの「ジョージとステファニー」コンビによる軽妙な会話から会はスタート。代表幹事の開会挨拶の後、来賓の柴野章一郎先生、赤井田秀光先生、立川克雄先生の3名の恩師の先生方から高校時代の懐かしい話が次々と披露されました。卒業から42年経ってもいずれの先生も若々しい。

田邊裕美さんの乾杯の後、楽



きました。最後に第90期東京同窓会の代表幹事森豊さんの3本締めで5年ぶりの会はお開きになりました。懐かしさのあまり話が弾み、いつもおいしい料理が残ってしまふので、一次会の開始15分間と二次会の最後には、料理をしつかり食べるようにアナウンス。SDGsにも配慮した会となりました。

第115回生1年1組、18年越しの初同窓会

山崎 将司 (115回) 07卒

今回集まった人数は153名。前回が156名、その前も約160名と会を重ねても学年の3分の1を超える同期が集まるのは、高校時代にタイムスリップできるこの会に居心地の良さを感じているからだろうか。還暦を迎えそれぞれが新たな道に進んでいるであろう5年後も、元気に再会することを約束して散会となりました。

2023年10月21日に、2007年卒業の115回生の1年1組のクラスで同窓会を開催しました。新潟で当時のクラスの担任の後藤純也先生と同級生10名が参加しました。また、東京で集合してリモート通話を利用して参加した者が4名、そして遠方からのリモート通話により、個別で参加した者が3名いて、総勢18名が集まる同窓会となりました。今回の同窓会のために、ニューヨークから帰国して参加した者もいました。当クラスで行う同窓会は初めての開催であり、連絡をとる手段がない同級生もいたため、青山同窓会事務局のお力をお借りして実現する



えたこととです。今回の同窓会を企画したメンバーは、高校卒業後も後藤先生と親しくしており、定年を迎えたこの機会に合わせ、後藤先生を交えた同窓会を企画することになりました。

同窓会当日は、後藤先生による参加者の名簿の読み上げから始まりました。当時を思い出させる出席確認は、18年前に戻るような気持ちにさせてくれました。その後、卒業以来初めて会合した者も多かったため、一人一人が高校卒業後の近況を報告しました。有名な企業や団体に勤める者も多く、新潟高校生が各地で活躍していることを知る機会となりました。

後藤先生は倫理の科目を専門

OB会 報告

フェンシング部OB会

「珍しい方々が参集しました」

石原 基規 (88回)

80卒

去る10月14日(土)フェンシング部懇親会をコロナ禍後4年半ぶりに開催しました。会場は第四北越銀行住吉町支店隣の「魚や片桐虎吉」でした。同料理店は国の有形文化財に登録されている築110年の古民家です。見事なお庭を鑑賞し、新潟の歴史を感じながら、新鮮でおいしい魚料理を頂きました。(経営は新潟中央水産(株)で新鮮なお魚を提供しています)

4年半の間の劇的な変化は私の同期の野島晶子さん(旧姓古



山)が新潟市副市長に就任したことと85回卒の富山泰男さんが結婚されたことです。フェンシング部の私の同期数名では半年に1回ぐらいの割合で飲み会を行っています。野島晶子さんは副市長就任直前の飲み会で、定年後はゆつくりした職場に再就職したいと言っていました。ところが年が明け、副市長に就任見込という記事を見て話の違いにびっくりしました。富山さんはずっと新潟高校フェンシング部を指導されていて、私のフェンシング人生において師匠と言っても過言でない方です。本当におめでとうございませうと心から思っています。

今回の懇親会には25名が集まりました。遠くはインドネシア

から77回卒の吉田敏和さんが、県外からも86回卒の河合早苗さん(旧姓木村)と正木智子さん(旧姓山本)が参加されました。河合さんと正木さんは私が1年の時の3年生でしたが、七夕選挙でワン・ツーとなるほどのきれいな方々です。新入生で、護国神社での地獄の基礎トレーニングからへとへとになって帰った時に、お二人の笑顔にどんなに癒されたことか。今回お二人

青山競技部 総会開催!

会長 河合 慎次郎 (86回)

78卒

が参加されると聞いて、わざわざ他の用事をキャンセルしてまで参加された先輩もおいででした。

懇親会参加者はずっと固定化されていたのですが、他にも101回卒、109回卒の初参加の方々が3名もおいでで、久しぶりに活気のある懇親会となりました。次回懇親会でもどんどん新しい方に参加いただければと思います。

コロナ禍で令和2年以降中止となっていました青山競技部(陸上競技部OB・OG会)の総会が、令和5年8月11日に開催されました。

統計史上、最も暑い夏と言われた令和5年の夏でしたが、全国からOB・OGの皆さんが集まってくれました。

総会では会長の挨拶に続き、決算・予算等の所定の議案につきご承認をいただきました。懇親会では名誉会長である若槻馨さん(56回)から乾杯の音頭をお取りいただき、4年振りに和やかな、熱のこもった会の幕が開きました。

会途中、新顧問の松本由美

が参加されると聞いて、わざわざ他の用事をキャンセルしてまで参加された先輩もおいででした。

た5種目は惜しくも進むことはできませんでした。しかし、この蓄積された力を遺憾なく発揮すれば、来シーズンは絶対に大活躍できると確信しています。

事務局では、高校卒業以来、地元はもちろん日本全国、さらには海外でも活躍しているOB・OG諸氏から、大学に入学して頑張っている若手OB・OGの皆さんまで、多くのOB・OGから寄せられた現況報告を「コメント集」として編集しています。総会に参加できなかった皆さんも、これを読んで海老茶のユニフォームで走った日々を思い出していただけたら、と思っています。



青山水友会 関川合宿激励BBQ

津野 徹 (85回)

77卒

恒例行事である関川村での現役員合宿や会員との交流試合、BBQは、新型コロナウイルス禍のためにこのところ中止になっていましたが、今年度は久しぶりに開催されました。

まずはOB懇親会。8月5日夕刻、関川村雲母温泉「寿荘」に水友会会長平田氏(60回)、沖野氏(60回)、長谷川氏(84回)、松木氏(84回)、塩田氏(85回)、津野(85回)の6名が集まり盛大に開催。名物鯛の兜煮をはじめ宿自慢の料理に加え、会長からの「大洋盛」や長谷川氏自家製枝豆の差し入れなどもあり、食えや飲めやであつという間の一夜となりました。

翌6日午前、関川小学校のプールで前日より合宿練習している現役員にOBが合流し、交流試合を挑む。OBチーム対現役男子チーム・女子チームで計3レース行い、距離や泳法でたっぷりとハンテをもらったOBチームが何とか3勝し、現役の生徒たちに程よく遊んでいたできました。

お昼は寿荘に戻り全員でBBQ。焼きそばから始まってカルピ、ロース、タン、そして謎の

が参加されると聞いて、わざわざ他の用事をキャンセルしてまで参加された先輩もおいででした。

た5種目は惜しくも進むことはできませんでした。しかし、この蓄積された力を遺憾なく発揮すれば、来シーズンは絶対に大活躍できると確信しています。

事務局では、高校卒業以来、地元はもちろん日本全国、さらには海外でも活躍しているOB・OG諸氏から、大学に入学して頑張っている若手OB・OGの皆さんまで、多くのOB・OGから寄せられた現況報告を「コメント集」として編集しています。総会に参加できなかった皆さんも、これを読んで海老茶のユニフォームで走った日々を思い出していただけたら、と思っています。



青山野球倶楽部現役の支援を継続

事務局長 小沢 謙一 (93回) 85卒

野球部OBで組織する青山野球倶楽部・高橋昇会長(73回)の活動は、現役チームの支援と会員の親睦事業の二本柱です。昨年3月20日、3月卒業の15人の新入会員(11卒業生)を迎え、総会及び新入会員歓迎会を開催しました。新入会員歓迎会では、参加したOB諸氏から、卒業に対する祝意と将来に対する激励ならびに、就職後の母校野球部に対する支援の呼び掛けがあり、和やかな雰囲気のうちに散会しました。卒業生による

と近年東大、京大、各大学の医学部、有名私立への進学が続いているとのことでした。現役チームへの支援は、夏の大会前に高反発の金属バット3本とヘルメット5個を贈呈しました。これらの支援に後輩たちが応え、夏は猛打で3回戦に進出しましたが、後に優勝した東京学館新潟高に3-8で敗退。悲願の甲子園出場はまたもや持ち越しとなりました。



新チームは2年生7人、1年生14人の少数精鋭で臨んだ秋の大会は、1回戦で新発田南校に0-8で敗退しました。

チームの課題である打撃強化のため、元プロ野球選手の広野功氏から打撃コーチを受けています。

チームの課題である打撃強化のため、元プロ野球選手の広野功氏から打撃コーチを受けています。

青山剣友会 総会、記念稽古会開催報告

青山剣友会 事務局長 川本 良樹 (121回) 13卒

2023年8月11日、新型コロナウイルス流行により開催を見送っておりました青山剣友会総会を、4年ぶりに新潟市のイタリヤ軒にて開催いたしました。令和4年度会計報告を行った後、事務局役員の任期満了に伴い役員の改選が行われ、新役員3名が就任いたしました。12年ぶりの事務局役員交代となり、大幅な若返りが計られたことで、さらに青山剣友会としての活動

が活発になることを期待しております。

総会に引き続き、母校剣道部監督の永原先生から現役部員の近況報告をいただいた後、現役の父母会会長の乾杯の音頭により懇親会となりました。

懇親会では、元NHK局員の曾我太一氏(113回)より、パレスチナ支局にいた頃の経験から、パレスチナ問題やロシアウクライナ問題について講演をいただきました。

きました。実体験に基づく内容により、現在発生している問題への理解をより深めることができました。

懇親会の最後には、全員で母校発展の願いを込めた丈夫を斉唱し、お開きとなりました。

また同日午前中には、亀田アスパーク剣道場にて、青山剣友会所属の荻莊誠氏(87回)が新潟県剣道連盟会長に就任したことを祝う稽古会を行いました。

母校OBの他、地元剣友会の方にもご参加いただき、気合と熱のこもった稽古が行われました。



今後とも、稽古会や懇親会を通してOB間のつながりを維持するとともに、現役部員への支援を続けて参ります。



令和5年10月28日の「青山祭」当日、櫻澤雅志会長と副会長の私2人で山岳部の教室を訪問し、4年ぶりとなる現役部員との交流会を開催しました。当日は2年生代表から活動報告を聞いた後、1・2年生は記憶に残る山行と山の楽しみ、3年生とOBはさらに後輩への一言を加えてスピーチ。今年の現役部員は1年生8人、2年生9人、3年生8人の合計25人(男子15人、女子10人)。「山丈夫(やまつすらお)」を目指して、日々、ランニングや歩荷などの体力作りと天気図やロープワークなどの技術習得に励んでいます。大会ではペーパーテストや計画書などはトツプレベルだったものの、体力に課題が残ったとのこと。近年は弥彦山に年3回登っているそうです。「岳食」と呼ぶ新メニューの開発会やボルダリング講習会を開催するなど、楽しみながら登山の知識と技術を学んでいるようです。1年生女子は「仲良し3人でテントに泊まるのが楽しい。伝

ます。

広野氏は、西武ライオンズの黄金期(三番秋山、四番清原)に打撃コーチを務めた方で、コロナ禍で指導回数は減っていましたが、本年秋季から集中的に指導を再開しました。広野氏の明確なバッティング論理説明と個別指導による的確なポイント修正により、選手達のフォームに明らかな変化が見られました。私学の壁は相当厚いですが、広野氏の指導を受けて打撃に磨きをかけ、本校にも今年夏の甲子園出場のチャンスは大いにあります!と信じ、OB会として支援を続けていきます。

れる機会の提供と親睦ゴルフ大会です。今年の県高校OB硬式野球大会は参加校が集まらず中止になりました。ゴルフ大会の成績は第74回の

優勝は石塚武文(86回)、2位斎藤洋一郎(78回)、第75回の優勝は松岡功太郎(113回)、2位佐藤雄一郎(90回)となりました。

新潟高校山岳部OB会 4年ぶりに現役部員と交流

上杉 知之 (95回) 87卒

今年10月28日の「青山祭」当日、櫻澤雅志会長と副会長の私2人で山岳部の教室を訪問し、4年ぶりとなる現役部員との交流会を開催しました。当日は2年生代表から活動報告を聞いた後、1・2年生は記憶に残る山行と山の楽しみ、3年生とOBはさらに後輩への一言を加えてスピーチ。

今年10月28日の「青山祭」当日、櫻澤雅志会長と副会長の私2人で山岳部の教室を訪問し、4年ぶりとなる現役部員との交流会を開催しました。当日は2年生代表から活動報告を聞いた後、1・2年生は記憶に残る山行と山の楽しみ、3年生とOBはさらに後輩への一言を加えてスピーチ。

統を繋いでいけるよう頑張りたい。」「2年生女子は「滑落して山が嫌いになりかけたが、先生の励ましで心が楽になった。」「3年生男子は「体調の悪い仲間を気遣う気持ちが強く、登る度に絆が深まり成長している。」「長い下山の苦しさをますますおを歌って乗り越えた。」「3年生女子は「一人じゃないことが心強い。絶望的な状況すら楽しめ

青山バドミントンクラブ 練習への参加

増井 隆二 (101回) 93卒

青山バドミントンクラブの活動として、現役員への支援を行っています。部活動での練習や試合で使用するシャトルを提供することや小杉信広氏(92回)が中心となって遠藤辰也氏(115回)、佐原啓介氏(115回)などのOBも休日の練習に参加して、一緒に羽根を打ちながら現役員への指導やアドバイスを

行っております。部活動での練習や試合で使用するシャトルを提供することや小杉信広氏(92回)が中心となって遠藤辰也氏(115回)、佐原啓介氏(115回)などのOBも休日の練習に参加して、一緒に羽根を打ちながら現役員への指導やアドバイスを

バドミントンで使用するラケットは性能進化が著しく、数十年前と比較すると素材も変わって軽量化された上で操作性や反発性などが格段に向上しているため、体の使い方自体も以前とかなり変わってきています。OBの指導も自分達が現役時代

として通用しない部分もあつていくような感覚が必要となつてきます。現役員は男女合わせて50人程度の大所帯で練習は大変だと思

いますが、一生懸命に取り組んでいく姿を見ますと心が洗われます。顧問の先生方の日頃からのご尽力には感謝しておりますし、OB・OGからの応援・支援が継続されてきた伝統もありますので、会員としては400人を超えていますが、会員同士の交流や現役部員の成長に少しでも貢献できるように取り組みを

今後は私も数回練習に参加させて頂いて、男女ともにゲーム練習までさせてもらい現役のレベルを体感することができました。練習相手として役に立つたかどうかは分かりませんが、年齢は離れていてもラリーは続けることはできるので、同じシヤ

一緒に山に登る機会もなくなりましてが、若い卒業生の皆さんには時々顔を出すなどして、世代的に近いOBどうしの交流を続けていってほしいと願っています。

夏の青山ラグビー祭を開催いたしました

小林 正人 (96回) 88卒

一昨年は3年ぶりの青山ラグビー祭を新潟商業高校のグラウンド開きに併せて合同開催いたしました。昨年8月11日に、実に4年ぶりに新潟高校グラウンドにて青山ラグビー祭を開催いたしました。まだ、コロナの影響も少し心配もあり、試合後の親睦会は開催せずに試合のみで、コロナ禍前には完全に戻った訳ではありませんが、徐々に以前の様な現役生とOBの交流の場を設ける機会ができた

交流戦に関しては、現役生・OB共にキラリと光るプレー、OBによる円熟味を増したプレーが随所に垣間見え、白熱した好ゲームとなりました。試合後は前述のとおり親睦会は開催いたしませんでしたが、グラウンド上で用意したスイカ等を頬張りながら交流を持つ事ができたのではないかと思っております。今年こそ、親睦会も含めて通常開催が出来る様に願うばかりです。

昨年は、ラグビーワールドカップが開催されました。4年前の日本開催の盛り上がりを受けラグビー人気上昇し、部員増加を期待いたしましたが、直後に新型コロナウイルスのまん延に



より水を差された感がありました。新潟高校ラグビー部においても、年々部員数の減少に歯止めがかからない状況が続いており、OBとしても胸を痛める思いです。

他県において県大会決勝が100点ゲームになり、一部の学校に有力選手が集中し、果たして県大会自体が必要なものなのか?という議論もあります。あくまで、高校での部活は教育の一環であることは間違いありませんが、高校ラグビー界の抱える問題に関してOB会としても今後取り組んでいかなければ

と思う次第です。青山ラグビー祭の親睦会は開催いたしませんでしたが、OB会の新年会は開催いたします。本文書が配布される頃には終了しているかもしれませんが、OBの皆様、新年会・青山ラグビー祭への奮つてご参加お待ちしております。

青山サッカーOB会 4年ぶりにOB戦を開催

蝦名 淳広 (101回) 93卒

令和5年8月19日(土)、サッカー部OB戦を開催しました。今回は、猛暑の影響で8月の気温が異常に高く、また例年お盆期間内としていた開催日を例年より1週間遅らせましたことや、コ

コロナ禍以降初となる4年ぶりの開催で、現役部員の中にOB戦の経験者がいなかったことなどから、例年通り盛大に開催できるか準備中は不安もありましたが、いざ当日を迎えてみれば、10代から60代の方までおよそ60名の方からご参加いただき、若さと元気があふれる現役部員の皆さんとOBで楽しく交流することができました。

年1回母校に集い開催するこのOB戦では、グラウンドの雰囲気やそこから見える風景が今も当時とさほど変わらないこともあり、始まれば直ぐに、当時の楽しかったことや苦しかったこと、仲間同士の他愛ないやりとり、練習中のワンプレイなどが思い起こされます。とても貴重で有意義な機会ですので、今回参加できなかった方や長い間参加していない方も、ぜひ来年はお気軽にご参加いただきたいと思ひます。また、会の最後に現役部員のキャプテンから力強いメッセージをいただき、全員で記念撮影をして無事終了となりました。

また同日グラウンドにて、青山サッカーOB会の総会を開催しました。阿部真也会長(83回)を議長に、事務局より事業報告、会計報告、監査報告がありました。令和6年1月2日(火)に、

恒例の新春初蹴り(フットサル)を行う予定です。こちらもOB同士の親睦を深める絶好の機会ですので、より多くの方からご参加いただけることを願っております。



青山墨友会 (書道部OB会) 書道教室を孝敬訪問

吉田 丈夫 (112回) '04卒

5月26日、青陵祭を間近に控えそぞろな雰囲気の後、私と小川和恵先生とで校舎5階の書道教室を訪問し、現役部員の皆さんと、本年度より着任された松本直美先生にご挨拶を差し上げました。

現在、1年生9名、2年生18名、3年生4名。本年は、8月の第1回24時間テレビにいがた書道パフォーマンス大会では当校が3位入賞、10月の全国高等学校総合文化祭では県代表に部員が1名選ばれる等、とても活躍してくれているよううれしく思いました。

松本先生ご自身も積極的に展覧会活動をされており、部の顧問としても、温かくご指導されている様子が伝わって参りました。墨の匂い、眼下のグラウンドと遠景の松林、そしてジャージ姿でひたむきに練習に励む後輩の姿を見て、懐かしさも背筋の伸びる思いでした。

なお、青山墨友会としての活動は現在、名簿の管理、母校書道部との連絡などが主で、総会、定例会は休止中です。書道部OBの方でご興味ございましたら、左記までご連絡ください。 yoshidatakeow15@gmail.com

令和5年度青山柔道倶楽部報告

会長 栗林 仁 (83回) '75卒

昨年11月11日(土)、新潟駅前のホテルグロウバルビュー新潟で青山柔道倶楽部総会を開催。昨年度、青山柔道部OB会から青山柔道倶楽部に改称して最初の総会で、70回卒から127回卒まで年の差57歳の33名の会員が参集した。コロナ禍でこれまで参加を見送っていた会員も多く、前年の23名から大幅に増加、うれしい限りである。総会に先立ち、高校柔道場で、新型コロナのため中断していた現役部員の稽古激励を再開、11名が駆け

つけた。中には柔道着を着て現役部員と汗を流す者もいて、久しぶりの畳の感触を確かめていた。機会を提供してくれた吉田理矢子監督(110回)に感謝したい。6時からの総会では会長挨拶、会計報告に続き、吉田監督から現役部員の活動報告があった。その後の懇親会は村田紀夫氏(70回)の乾杯で始まり、東京青山柔道倶楽部会長の佐藤信秋氏(74回)の挨拶と続き、終始穏やかな雰囲気の中で各会員が旧交を温めた。会も終盤、立川克雄名誉会長(72回)の締めめで盛会のうちに終了した。

上記のほか出席者は次のとおり。梅田典夫(72回)、佐藤成昭(74回)、吉谷克雄(81回)、倉田久郎衛(82回)、成田昌稔(82回)、広井俊隆(82回)、山下義昭(82回)、天金秀樹(86回)、橋本伸(86回)、須田剛(87回)、小林久哉(88回)、儀同政宏(90回)、齋藤俊弘(90回)、野沢雅行(91回)、上杉恒彦(92回)、丸山寛(93回)、森克也(93回)、

西山勇治(94回)、名塚武史(97回)、岩城孝和(100回)、小田将之(100回)、小原裕士(100回)、加藤知愛(101回)、渡辺誉志(107回)、細野宏輝(119回)、渡邊勇紀(120回)、和泉貴大(126回)、佐藤健介(127回)。次回も大勢が集まることを期待したい。



青山バスケットボールクラブOB会 コロナを乗り越え一歩前進!

塚野 真也 (86回) **78卒**

2022年にコロナ流行第7波、8波があり、その後は完全には収束にはいたりませんでした。昨年12月20日に総会および新年会を3年ぶりに開催しました。コロナ流行前には行われていた現役生との交流試合は行わずに開催しました。男女の現コーチ2名と



▶青山親善バスケットボール大会
新潟高校体育館

歴代コーチの先生方2名にご参加いただき、OB・OGからは昭和33年卒から平成11年卒まで幅広い年代の13人が参加しました。久しぶりの会のこともあり、近況報告や現役時代の思い出話に花が咲きました。またコーチの先生方から現役生の活動や学校生活などについてお聞きできました。また通常は現役生も参加する会でしたが今回は参加せず、そのかわりビデオレターで自己紹介などしてくれてとても楽しいときが過ごせました。コロナ禍で人との交流が少なくなっておりましたが、今回は短い時間でしたが、先輩、後輩、同僚と気兼ねなく談笑し、人との絆の大切さを再認識いたしました。最後にこれもまた大変久しぶりに感じましたが、「ますらお」を斉唱しました。これだけ広い年代の方が集まるとそれぞれ時代の「ますらお

2020年からお休みして再開いたしました。新型コロナウイルスの影響に加え、担当していたスタッフが（ジんクスと囁かれる程に）皆県外へ異動していたこともあり、少々長めに充電をさせていただいておりました。楽しみにされていた皆様申し訳ございませんでした。お待ちいたしました。

2020年からお休みして再開いたしました。新型コロナウイルスの影響に加え、担当していたスタッフが（ジんクスと囁かれる程に）皆県外へ異動していたこともあり、少々長めに充電をさせていただいておりました。楽しみにされていた皆様申し訳ございませんでした。お待ちいたしました。

令和5年10月14日土曜日に、83回生の同期会に参加しました。会の詳細は幹事会からレポートがあると思いますが、8年ぶりに話をすることができて、これまで以上に懐かしい会になりました。

翌日午後の航空機で帰阪しました。これまで大阪〜新潟間は年に2、3回航空往復してきましたが、新潟空港

の歌い方がありますね。これからもずっと伝承されることになるのでしようが、コロナ禍でも「ますらお」や「青陵祭」がなくなったことは本当によかったと思います。

その他、例年2月にOB会の主催で行っていた青山杯ですが、県外チームの招待はまだ困難でしたので、昨年は県内の高校から男子2校、女子6校をお招きして3月25日と26日に親善大会を開催いたしました。まだ制限がある生活は続いています。昨年は当会の活動も一歩進むことができました。今後も会員の絆、現役生との交流を大切にしていこうと思っています。

も全く問いません。150でも200でも大丈夫です。同窓会公式コンペという敷居を感じてしまう方もいるかも知れませんが、是非一度参加してみ、

霧囲気を感じてみてください。せっかく卒業した新潟高校。学年、部活を超えた交流もいかがですか？

同好会

青山ゴルフ会

お待たせいたしました！再開のお知らせ

品田 泰 (101回) **93卒**

特別寄稿

同期会帰路の機内から見えた母校

渡邊 友昭 (83回) **75卒**

令和5年10月14日土曜日に、83回生の同期会に参加しました。会の詳細は幹事会からレポートがあると思いますが、8年ぶりに話をすることができて、これまで以上に懐かしい会になりました。

翌日午後の航空機で帰阪しました。これまで大阪〜新潟間は年に2、3回航空往復してきましたが、新潟空港



翌日午後の航空機で帰阪しました。これまで大阪〜新潟間は年に2、3回航空往復してきましたが、新潟空港

からは通常西向きに離陸し、左手すくに信濃川河口、新潟市中心部を見ながら上昇していきます。

今回の関西国際空港行きピッチ航空の座席は7A。前夜の愉しい時間を思い出しながら離陸し、窓下を見ると新潟高校の校舎とグラウンドが見えたので慌ててスマホで撮りました。建て替えられた新校舎には入ったことがないですが、グラウンドや海浜公園の松林を含めて懐かしい一帯です。

母校の右隣りには浄土真宗念佛寺が写っています。この寺には3年7組時の担任で昨年1月26日に亡くなられた上杉雅之先生(60回)のお墓があり、7月にお参りしてきました。これまで何度も機上から見た新潟の街の景色ですが、今回は特に印象に残りました。

コロナに翻弄されて3年遅れになりましたが、83回生の同期会に参加できてよかったです。幹事会の皆さんの決断と催行に敬意と感謝です。次回は3年後の古希開催か、5年後かわかりませんが、健康に注意して、できるだけ出席したいと思っています。

母 校 は 今 <令和5年度新潟高等学校部活動大会等結果報告>

陸上競技

【新潟県陸上競技選手権大会】
 男子：400M 6位 圓山 倫生
 女子：棒高跳 4位 長谷川 碧 7位 松原 梨奈

【新潟県高等学校選抜陸上競技大会】
 男子：400M 1位 圓山 倫生 ※北信越新人大会出場
 棒高跳 2位 増子 岳暁 ※北信越新人大会出場
 5位 秋山 湧翔 ※北信越新人大会出場
 6位 原 祐生
 4×400MR 3位 渡邊 陵太・堤 賢人・山口 晴大・圓山 倫生 ※北信越新人大会出場
 400MH 4位 堤 賢人 ※北信越新人大会出場
 学校対抗 6位 (33点)
 女子：棒高跳 3位 長谷川 碧 ※北信越新人大会出場
 8位 松原 梨奈

【U-18陸上競技大会】
 男子：300M 圓山 倫生 出場
 【北信越高等学校新人陸上競技大会】
 男子：400M 1位 圓山 倫生
 4×400MR 6位 渡邊 陵太・堤 賢人・山口 晴大・圓山 倫生
 女子：棒高跳 7位 長谷川 碧

【県総合体育大会(駅伝競走)】
 男子：16位 吉田 優也・平 崇央・番場 玲太・吉川 晃太・麻谷 悠太・古田島 輝・田中 宏明
 女子：9位 市橋 朋佳・吉原 芳歌・平山 悠那・金子 達結・淺井 菜那

水泳

【北信越総体】
 男子：50M 自由形 2位 堀内 光 ※全国総体出場
 100M 自由形 4位 堀内 光 ※全国総体出場
 100M 背泳ぎ 3位 須田 大晴 ※全国総体出場
 200M 背泳ぎ 2位 須田 大晴 ※全国総体出場
 4×100Mフリーリレー 6位 堀内 光・田辺 悠人・寺田 一敬・須田 大晴 ※全国総体出場
 4×100Mメドレーリレー 5位 須田 大晴・田辺 悠人・坂本 荘介・堀内 光 ※全国総体出場

男子総合6位
 女子：400M 自由形 4位 富樫 美咲
 800M 自由形 3位 富樫 美咲 ※全国総体出場
 200M 背泳ぎ 5位 佐藤 琴光
 4×100Mフリーリレー 8位 佐藤 門間・河原・富樫

【全国総体】
 男子：50M 自由形 堀内 光 予選22位
 100M 自由形 堀内 光 予選51位
 100M 背泳ぎ 須田 大晴 予選31位
 200M 背泳ぎ 須田 大晴 予選43位
 4×100Mフリーリレー 堀内 光・田辺 悠人・須田 大晴・寺田 一敬 予選63位
 4×100Mメドレーリレー 須田 大晴・田辺 悠人・坂本 荘介・堀内 光 予選47位
 800M 自由形 富樫 美咲 予選34位

バレーボール

【全日本バレーボール高等学校選手権大会新潟県予選会】
 男子：1次予選 新潟2-O新潟西
 2次予選 1回戦 新潟2-O小出
 2回戦 新潟0-O2新発田南
 女子：1次予選 新潟2-O0万代 新潟2-O0敬和学園
 2次予選 1回戦 新潟0-O2小千谷

バスケットボール

【全国バスケットボール選手権大会1次予選】
 男子：1回戦 新潟94-47巻
 2回戦 新潟62-92長岡工業
 女子：1回戦 新潟72-61十日町
 2回戦 新潟52-65日本文理

ソフトテニス

【県新人選抜大会】
 女子：ベスト32 南雲 渚・和久井彩葉

バドミントン

【県1・2年生大会】
 女子：ダブルス ベスト32 保科 万由・新名陽奈子

サッカー

【全国高等学校サッカー選手権新潟県大会】
 2回戦 新潟2-1中越 3回戦 新潟0-7新潟明訓

ラグビー

【全国高等学校ラグビーフットボール大会新潟県予選】
 1回戦 新潟41-14新潟市合同
 準々決勝 新潟10-21長岡 ベスト8
 【NHK杯新潟県高等学校ラグビー大会】
 1回戦 新潟上中越合同29-38長岡
 コンソレーション 新潟上中越合同28-31下越合同

柔道

【北信越総体】
 女子：個人戦 52kg級 村松 葉和 出場
 【BSN高等学校柔道体重別選手権大会】
 女子：団体 1回戦 新潟0-3新発田

剣道

【北信越総体】
 女子：個人戦 小柳あずみ 出場

テニス

【全国選抜高校テニス大会】
 男子：団体 3位
 2回戦 新潟5-O高田北城
 3回戦 新潟3-1長岡向陵
 準決勝 新潟0-3東京学館新潟
 3位決定戦 新潟3-1長岡
 2位決定戦 新潟0-3開志国際
 女子：団体 3位
 1回戦 新潟4-1三条
 2回戦 新潟3-2小千谷
 準決勝 新潟0-3新潟第一
 3位決定戦 新潟3-2新潟南
 2位決定戦 新潟2-3長岡大手

【県高等学校テニス選手権大会】
 男子：ダブルス ベスト8 高尾 尚義・佐藤 航瑛
 シングルス 高尾 尚義 3回戦進出
 佐藤 航瑛 3回戦進出
 大江 隼平 2回戦進出
 女子：シングルス 伊藤 百花 3回戦進出

フェンシング

【北信越総体】
 女子：学校対抗戦 出場
 個人フルール 4位 小林 鈴
 個人サーブル 6位 小林 鈴

【全国総体】
 女子：個人エペ 風間 桃子 予選プール出場
 渡邊万奈佳 予選プール 2勝
 予選トーナメント 進出
 個人サーブル 小林 鈴 予選プール出場
 石黒 千穂 予選プール 2勝
 予選トーナメント二回戦進出
 個人フルール 渡邊万奈佳 予選プール出場
 小林 鈴 予選プール 1勝
 予選トーナメント進出
 学校対抗フルール 予選トーナメント二回戦進出

【新潟県高等学校秋季体育大会フェンシング競技大会】
 男子：個人フルール 5位 片山 利音 6位 井上 侑
 個人エペ 4位 山田 真平
 個人サーブル 2位 片山 利音 4位 小杉耕太郎
 6位 坂井 汰樹
 女子：学校対抗戦エペ・サーブル 優勝 ※北信越大会出場
 個人フルール 2位 佐野 花音 4位 小海 紗里
 5位 小林 陽葵
 個人エペ 優勝 黒瀬 瑠音 2位 柳 咲希
 3位 福岡 葵 4位 田中 結彩
 5位 多田 悠花 6位 小林美哉子
 個人サーブル 2位 佐野 花音 3位 小海 紗里
 4位 小林 陽葵 5位 佐藤 可奈

ボート
 【北信越総体】
 女子：ダブルスカル 新潟高校A
 2位 増子 歩美・丸山 恵
 【全国総体】
 男子：舵手付きキョトルブル 西山 航永・田村 豊・八木 天翔・富岡 晃生・中島 大成 出場
 女子：舵手付きキョトルブル 和田明香里・石山 琴世・菊地 遥・中枝 寛香・山本 楓 準々決勝進出
 ダブルスカル 増子 歩美・丸山 恵 準々決勝進出
 【中部高校選抜競漕大会】
 男子：舵手付きキョトルブル 新潟高校A
 仲山 陽太・田村 豊・八木 天翔・富岡 晃生・田中 丞士 出場
 舵手付きキョトルブル 新潟高校B
 星野 泰知・上杉 怜央・小島 健生・伴内 瑞希・星 玲央 出場
 ダブルスカル 新潟高校B
 江部 蓮平・白井竜之介 出場
 シングルスカル 新潟高校A 丸山 凜空 出場
 女子：舵手付きキョトルブル 新潟高校A
 和田明香里・中枝 寛香・和田 純佳・菊地 遥・山田 凜 出場
 舵手付きキョトルブル 新潟高校B
 牛木 真尋・古寺 藍子・星名 心・石山 琴世・福岡 里奈 出場
 ダブルスカル 新潟高校A
 増子 歩美・丸山 恵 準決勝進出

空手道
 【全国高等学校空手道選抜大会新潟県予選会】
 男子：団体形 3位
 組手76kg級 2位 渡邊 玲太
 女子：団体形 1位
 団体組手（5人制） 3位
 個人形 2位 高橋くらら

野球
 【北信越地区高等学校野球大会新潟県大会】
 2回戦 新潟5-4 開志学園
 3回戦 新潟6-2 新潟商業
 4回戦 新潟0-11 帝京長岡
 【全国高等学校野球選手権記念新潟大会】
 2回戦 新潟13-0 新潟東
 3回戦 新潟3-8 東京学館新潟
 【北信越地区高等学校野球大会新潟県大会】
 2回戦 新潟0-8 新発田南

弓道
 【北越総体】
 男子：個人 宮 蹴斗 ベスト8
 【全国総体】
 団体男子の部 予選敗退
 【県弓道選手権大会】
 男子：団体 3位 ※北信越新人大会出場
 女子：団体 4位 ※北信越新人大会出場
 【北信越新人大会】
 男子：団体 ベスト8

放送
 【NHK杯全国高校放送コンテスト】
 アナウンス部門
 蝶名林木乃香・斎藤 真緒 準々決勝進出
 朗読部門 山崎 和花・岡 郁瑠 準々決勝進出
 テレビドキュメント部門
 作品名「舞うーこれまでも、この先もー」 準々決勝進出
 創作ラジオドラマ部門
 作品名「海も月も越えて僕らは」 準々決勝進出
 創作テレビドラマ部門
 作品名「コイツが愛を知るまでは」 準々決勝進出
 【全国総文祭】
 アナウンス部門 蝶名林木乃香 出場
 朗読部門 山崎 和花・岡 郁瑠 出場
 オーディオメッセージ部門
 審査員特別賞
 作品名「にいがた妖怪伝説『大助小助のぼるとき』」
 【新潟県高等学校放送コンクール】
 アナウンス部門 1位 齋藤 真緒
 ※全国大会・北信越大会進出
 アナウンス部門 奨励賞 木村 円香 ※北信越大会進出
 朗読部門 1位 昆 千遥
 ※全国大会・北信越大会進出
 朗読部門 奨励賞 早川 千鶴 ※北信越大会進出
 ラジオ番組部門 1位
 作品名「未来への種」 ※全国大会・北信越大会進出
 ラジオ番組部門 3位 作品名「とけないアイス、もも太郎」
 テレビ番組部門 2位 作品名「ぼくらの幸田さん」
 ※全国大会・北信越大会進出

写真
 【新潟県総文祭】
 優秀賞 長谷川未來 羽ヶ崎ひなた
 奨励賞 掛川 ゆう 新井 楓果
 入選 池田 美南、内山 直洋、北原 優、笹 哩梨子、橋本 茉莉、米山明日花、渡辺 若葉、荒海 菜月、猪又 咲希、渡辺 柁帆、佐藤嘉雅理、佐藤 瑠美、岩原 莓、上野 純怜
 【全国総文祭】
 推薦 坂野 衣咲

合唱
 【NHK全国音楽コンクール新潟大会】 銀賞
 【全日本合唱コンクール新潟県大会】 銀賞

吹奏楽
 【新潟県吹奏楽コンクール】 金賞
 【西関東吹奏楽コンクール】 銀賞
 【新潟県アンサンブルコンテスト】
 金管7重奏 金賞
 サクソフオーン5重奏 金賞

囲碁
 【全国総文祭】
 男子：個人戦 44位 森岡 大智
 女子：個人戦 33位 權 退琴
 団体戦 40位
 【文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会】
 男子：団体戦 出場
 個人戦 森岡 大智 松本 煌生 出場
 女子：団体戦 出場
 個人戦 吉村 名央 出場
 【県高等学校秋季囲碁段位認定大会】
 1位 權 退琴 2位 望月 新太
 3位 遠藤 美月
 【新潟県高等学校総合文化祭囲碁部門】
 男子：1位 松本 煌生 2位 望月 新太
 3位 佐藤 祐真 5位 目黒 結人
 ※北信越大会出場
 団体戦 1位 ※北信越大会出場
 女子：1位 權 退琴 2位 前山 果凛
 3位 土屋 楓 4位 石崎 朱莉
 5位 碓 あかり ※北信越大会出場
 団体戦 1位 ※北信越大会出場

美術
 【全国総文祭】
 推薦 坂野 衣咲

書道
 【高校生国際美術展】
 佳作 植木 陽菜 加藤由衣子 佐藤 璃歩 澤口 晴
 高井 莉愛 中島 采芭 根本 夏美 本間沙也花
 眞島 雪季
 【国際高校生選抜書展】
 秀作賞 磴 碧珠 本間沙也花
 入選 高井 莉愛 植木 陽菜 佐藤 璃歩 加藤由衣子
 根本 夏美 吉田 莉央 柴野 璃子 澤口 晴
 若月咲智子
 【新潟県競書大会】
 新潟大学長賞 磴 碧珠
 準特選 須田 愛子 若月咲智子 渡部 真由
 田巻 和夏 下間 琉愛 小森ことの
 佐野 傑 三浦 慧 石山 紗紀
 中島 采芭
 【新潟県総文祭 美術・工芸、書道展】
 新潟県高等学校文化連盟賞 本間沙也花
 ※令和6年度岐阜総文祭推薦出演

個人
 【令和5年新潟県高校生英語スピーチコンテスト】
 2位 酒井 麻帆 関東甲信越地区英語スピーチコンテスト進出
 3位 高橋くらら
 4位 他田さくら
 【第11回新潟県高校生英語ディベート大会】
 3位 空即是色チーム 他田さくら・森田 侑見・神田 和来・小林 孝彰



| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----------|----|----|----|
| 小松 | 小林 | 勝り | 佐佐 | 藤野 | 裕夫 | 玉坪 | 木野 | 正俊 | 己広 | 五池 | 十嵐 | 隆華 | 伊今 | 藤井 | 孝あ | 憲ね | 宮宮 | 北腰 | 靖子 | 石伊 | 山藤 | 友玲 | 英子 | 白清 | 川野 | 裕定 | 章貴 | |
| 近近 | 原藤 | 宏男 | 塩清 | 野田 | 哉之 | 時中 | 田川 | 英佳 | 夫子 | 池石 | 亀田 | 美全 | 今遠 | 井藤 | あか | ね聡 | 宮村 | 腰上 | 子子 | 伊内 | 藤坪 | 玲琢 | 子子 | 清関 | 野江 | 定博 | 貴司 | |
| 郷郷 | 藤藤 | 浩子 | 園高 | 須野 | 久子 | 長花 | 嶋澤 | 治一 | 夫之 | 伊今 | 田原 | 基信 | 岡神 | 林田 | 由美 | 聡美 | 森山 | 上田 | 子豊 | 内大 | 坪矢 | 琢謙 | 子聰 | 関祖 | 野澤 | 博明 | 司展 | |
| 齋齋 | 藤藤 | 人子 | 高野 | 野見 | 靖志 | 花林 | 沢口 | 一孝 | 和幸 | 岩上 | 積井 | 一信 | 倉倉 | 間木 | 正啓 | 浩輔 | 横山 | 井田 | 敬敬 | 大小 | 大小 | 謙真 | 一美 | 祖父 | 江澤 | 武千 | 史給 | |
| 坂坂 | 井井 | 志之 | 高玉 | 木井 | 己子 | 樋広 | 沢口 | 敬利 | 子男 | 上大 | 井測 | 恒健 | 佐竹 | 野勢 | 裕恭 | 聡道 | 渡渡 | 井田 | 明助 | 小工 | 小工 | 奈洋 | 一子 | 瀧名 | 塚田 | 裕正 | 幸司 | |
| 笹笹 | 川水 | 亨泉 | 津戸 | 野枝 | 徹夫 | 本前 | 田山 | 祐晃 | 浩徹 | 大太 | 家越 | 玉恵 | 白関 | 野勢 | 弘治 | 道子 | 五百 | 川山 | 淳子 | 柴清 | 田橋 | 二子 | 渡渡 | 越部 | 康正 | 公健 | 信幸 | |
| 清白 | 井倉 | 夫晴 | 登米 | 坂地 | 良生 | 丸水 | 野腰 | 立重 | 裕郎 | 長小 | 田原 | 宏正 | 高田 | 橋村 | 雅美 | 子子 | 石市 | 川井 | 貴子 | 橋泰 | 田卷 | 政一 | 金内 | 村野 | 成貴 | 樹太 | 友嗣 | |
| 白関 | 橋橋 | 吾造 | 富長 | 山野 | 子衛 | 山山 | 山山 | 規泰 | 明子 | 君木 | 村間 | 裕博 | 中野 | 野川 | 望宏 | 子子 | 今上 | 野田 | 春二 | 阿今 | 井谷 | 素勝 | 子卓 | 高土 | 敦富 | 中裕 | 大知 | |
| 高田 | 崎中 | 夫一 | 庭長 | 角場 | 世彦 | 山山 | 山山 | 文彩 | 修子 | 小池 | 林林 | 久洋 | 古山 | 井川 | 昭利 | 樹夫 | 小小 | 野野 | 慎一 | 大加 | 島田 | 秀大 | 成子 | 明介 | 幸一 | 剛之 | 行孝 | |
| 田浪 | 野口 | 介郎 | 花馬 | 石田 | 仁代 | 若渡 | 渡邊 | 智昌 | 子昇 | 小小 | 山山 | 佳貴 | 星前 | 川尾 | 睦紀 | 均成 | 小小 | 井井 | 裕英 | 浅阿 | 妻澤 | 拓里 | 知由 | 泉男 | 見久 | 郎輔 | 樹磨 | |
| 野星 | 野野 | 夫英 | 藤藤 | 田見 | 宏二 | 五十 | 嵐沢 | 純博 | 聡量 | 後齋 | 藤藤 | 要弘 | 丸山 | 山口 | 敏一 | 昭郎 | 山山 | 桑本 | 正里 | 芳信 | 雅涼 | 直和 | 正良 | 直卓 | 茂園 | 直要 | 佳孝 | 裕一 |
| 星堀 | 野江 | 慎子 | 本三 | 水宮 | 幸明 | 大遠 | 大森 | 利誠 | 洋彦 | 相高 | 武田 | 章雅 | 池石 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁和 | 博子 | 夫文 | 美志 |
| 三宮 | 浦崎 | 仁也 | 吉若 | 森吉 | 一哉 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁和 | 博子 | 夫文 | 美志 |
| 村森 | 岡崎 | 誠志 | 若渡 | 田林 | 一哉 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁和 | 博子 | 夫文 | 美志 |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁和 | 博子 | 夫文 | 美志 |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁和 | 博子 | 夫文 | 美志 |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁和 | 博子 | 夫文 | 美志 |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁和 | 博子 | 夫文 | 美志 |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁和 | 博子 | 夫文 | 美志 |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁和 | 博子 | 夫文 | 美志 |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁和 | 博子 | 夫文 | 美志 |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁和 | 博子 | 夫文 | 美志 |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁和 | 博子 | 夫文 | 美志 |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁和 | 博子 | 夫文 | 美志 |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁和 | 博子 | 夫文 | 美志 |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁和 | 博子 | 夫文 | 美志 |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁和 | 博子 | 夫文 | 美志 |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁和 | 博子 | 夫文 | 美志 |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁和 | 博子 | 夫文 | 美志 |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | 阿阿 | 一子 | 大森 | 森森 | 彰利 | 彰利 | 高武 | 中村 | 章雅 | 五百 | 見藤 | 同田 | 藤藤 | 井井 | 藤藤 | 道結 | 雅之 | 洋直 | 信弘 | 裕善 | 悟一 | 仁 and 博子 | 夫文 | 美志 | |
| 山山 | 山崎 | 弘彦 | 阿阿 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度前期 青山同窓会会費納入者

令和5年4月より9月末まで納入いただいた方を掲載しております。10月以降に納入された方は次号に掲載いたします。会費を納入していただきますと「青山同窓会報」を毎月お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなってしまいます。本年度未納の方は是非3月までにお振り込みくださいますようお願い申し上げます。

令和6年度会費納入のお願いと振込用紙は、令和6年度総会のご案内と一緒に郵送いたします。

年会費 1口 1,000円。できるだけ2口以上でお願いいたします。手数料はご負担をお願いします。
振込先 【郵便振替口座】 00650 - 7 - 4455 青山同窓会
【第四北越銀行】 白山支店 普通口座 5008609 青山同窓会年会費

お知らせ ゆうちょう銀行では令和4年1月17日以降の振り込みにおいて、現金でお支払いの場合には振込手数料に1件ごとに料金(110円)が加算されます。ゆうちょうの通帳またはキャッシュカードをご利用され口座からお支払いの場合、今まで通りに振込手数料はかかりませんが加算はありません。

Table with columns for birth year (e.g., 50回S18年) and names of members. Includes a '全日制' column on the far left and a '68回S35年' column on the far right.